

The298th Programming Deliberation Committee

第298回番組審議会 議事録

開催日 2026 年 5 月 19 日(火)

出席者：山田吉彦委員長、角田陽一郎委員、長崎亘宏委員、安藤美冬委員、望月理恵委員

議題（審議番組）：『PUFFY Re:member』

放送日時： 2026 年 4 月 11 日・18 日（土） 21:00～21:30

DJ：PUFFY（大貫亜美・吉村由美）

会社からの説明

今年、開局30周年を迎えたインターエフエムと同じく、

今年デビュー30周年を迎えたPUFFYによる新番組です。

近年、平成カルチャーがリバイバルブームを迎えていますが、当時の音楽シーンの真ん中で活躍し、

今尚、人気の高いPUFFYをDJに据えたこの番組は、

その平成カルチャーの“リミックス”をコンセプトにしています。

尚、番組には、リミックスの要素として、令和のアイコンでもある人物がゲストとして出演します。

委員からの意見・感想

【審議委員 A】

お二人の肩の力が抜けた自然体な雰囲気がとても魅力的で、

番組が短く感じるほど、ずっと聞いていたいと思った。

ゲストの鈴木綺麗さんとのメイクのお話も興味深く、会話を聞いているというより、

同じテーブルを囲んで話している場に混ぜてもらっているような感覚があった。

【審議委員 B】

ゲストの方が「また遊びに来たい」と話していたのも印象的だった。

目の前の相手にしっかり興味を持ち、その場限りではない

温かいコミュニケーションをしていることが伝わってきて、とても素敵な番組だと感じた。

特に改善点というものはなく、純粋にラジオとしてとても楽しかったため、

今後もこの雰囲気のまま続いてほしいと思う。

【審議委員 C】

オープニングで流れた『アジアの純真』を聴いた瞬間、一気に引き込まれてしまった。

『渚にまつわるエトセトラ』も含めて、改めて楽曲の力の大きさを感じた。

平成カルチャーらしい“悪ノリ”や継続的なネタを番組内で育てていくような仕掛けがあると、より番組らしさが出てくるのではないか。

【審議委員 D】

PUFFY が 30 周年というタイミングでラジオ番組を持っていること自体が、とても価値があることだと感じた。

ゲストとの組み合わせも重要で、今回の鈴木綺麗さんのような、テーマに興味を持ち、自ら会話を広げてくれるゲストとの相性は非常に良いと思う。

【審議委員 E】

韓国カルチャーや SNS など、今の若い世代にとって当たり前のものが自然に会話の中に出てくることで、世代や時代の変化 そのものを感じることができた。そうした空気感を無理なく伝えている点も、この番組の魅力だと思う。

全体として、ラジオだからこそ生まれる自然な会話や空気感が楽しめる、とても良い番組だと感じた。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上